

第2学年 算数科学習指導案

1 単元（題材） 長さ（本時4／9）

2 本時の目標

ものさしを使って正しく長さを測り、何 cm 何 mm と何 mm の2つの表し方で長さを表現できるようにする。（知識・技能）

3 展開

段階	児童（生徒）の活動	教師の活動
導入 (3)	<p>1 ものさしを使うときに気を付けることを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・端っこを測りたいものの端っことぴったり合わせなきゃいけないよ。 ・まっすぐな線しか測れないよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ものさしを使うときに気を付けることを板書し、児童がものさしの使用で困ったときに確認できるようにする。
課題 (2)	<p>2 本時の学習課題を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>正しくはかり、長さあらわし名人になろう！</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・はかりたいものはしともものさしの0の目もりをあわせる。 ・まっすぐな線しか長さをはかることはできない。 ・長さはかりたいばしょにもものさしをぴったりとあわせる。
展開 (35)	<p>3 教科書にかいてある直線の長さを、30cm ものさしを使って、正しく測り、cm やmm で表す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長い目もりが8本と短い目もりが5本なので、8cm5mm です。 ・全部で目もりが85本あるので、85mm です。 ・考え方の付け足しで、黒い丸の目もりまでが5cm というのをを使って考えました。 <p>4 用意されたひもをチームで協力し、ものさしを使う際の留意点に気を付けて正しく測り、cm やmm で長さを表す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少しでも曲がっていると測れないから、端っこをもっておくよ。 ・ひもの端ともものさしの0の目もりを合わせて、テープでとめよう。 ・1cm は10mm だったから、3cm3mm の3cm は30mm と考えて、このひもの長さ33mm とも言えるね。 	<ul style="list-style-type: none"> ・正しくものさしを使うことができていない児童には板書を見させながら確認する。 ・8cm5mm も85mm も同じ長さであることを図で、明示する。 ・30cm ものさしの目もりの読み方につまずいている児童には、黒い丸の目もりまで何cm になるか目もりを数えることを促す。 ・机間指導しながら、児童の考えを座席表に整理する。 ・児童の気づきを称賛し、発表の時間をつくり、学級全体で考えを共有する。 ・答えだけをノートに書いている児童には、友だちに考え方が伝わるように過程も書くように促す。 ・児童1人につき1本ひもを配布する。 ・ひもの長さを測る際、正しく測れていないチームがあったら、板書を確認するように声をかける。 ・1mm より小さい値になって困っているチームには、どう読むかチームで一つ考えを出すように助言する。 ・何cm 何mm か測り、何mm かについては、形式的な変換で行っている児童については、賞賛しつつも、ものさしで測ることの有用性を伝え、双方のやり方でできるようにする。 ・机間指導しながら、児童が新たな気づきを記述していたら意図指名する。
整理 (5)	<p>5 本時の振り返りをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・短い目もりの幅で読めば、単位をmm で表せるし、長い目もりの幅で読めば、cm で表すことができるということが分かりました。 ・チームで長さを測ったとき短い目もりの間になっちゃったけど、mm より小さい単位はあるのかな。 </div>	

4 評価

ものさしで正しく長さを測り、2つの表し方で長さを表現することができたか。

（活動3、4の児童の発言や記述から）